



葵タイムス



新年明けまして おめでとうございます



和歌山連盟理事長
矢田 嘉秀

昨年は、岸本連盟長が急逝され驚きましたが、皆さんのおかげで8年ぶりの県キャンプを串本町で開催し、無事終了することができました。そして、今年には広島県で日本ジャンボリーが開催されます。スカウト活動はチームです。参加するスカウトが技能訓練するだけでなく、班のみんなと一緒に訓練することで参加しないスカウトも技能が向上します。

また、指導者の方々においては、ボーイ隊だけでなく、カブやビーバースカウトに機会があるたびにジャンボリーの話をしたり、ボーイ隊の訓練を見せたりして、ジャンボリーへの憧れ、希望を醸成していただければ、団の活性化が図れないかと思えます。いずれにしても、せっかく大きなイベントがあるので、これを活用して今年はいろいろ挑戦してみませんか。

《加藤隆也 事務局長》



近年、皆様もご承知の通りスカウトの登録数は減少しており和歌山も例外ではありません。スカウト活動は、チームシステム・バッチシステム・野外活動を軸に展開しますが、現状は難しい面があると思えます。チームシステムには、班活動のできる人数。更にバッチシステムには、進歩進級の基準の維持。野外活動はマンネリ化をしないことが、何より必要ではないでしょうか。

今、県連が地区の垣根を越えてたくさんのスカウトが同じように活動することも一つの方法だと思います。今年には第19回日本スカウトジャンボリーが広島県神石高原で開催されます。和歌山からスカウト・指導者合計58名が参加します。これも一つのきっかけになればいいと思えます。今年1年かけて皆さんでじっくり検討しなければと思えます。



和歌山連盟長代行
仙石 康盛

スカウト諸君あけましておめでとう。昨年度は県キャンプリー等が盛大に実施でき大変喜んでおります。スカウト諸君には余り関係ないかもしれませんが、一昨年10月に岸本知事に連盟長の推薦をお願いし、快くお引き受けいただき和歌山連盟としては順風満杯でスタートしたつもりでした。

全国のスカウト県連盟は、ほとんど各県の知事さんを連盟長に推薦し活動しているのが現状です。和歌山連盟では、知事さんの連盟長というのは80年歴史のなかで初めてのことでした・・・。

今年度は広島県神石高原町で第19回日本スカウトジャンボリーが開催されます。BS及びVSが参加基準になっておりますので、年代によってはジャンボリーに参加が難しいスカウトもあると思えますが、ボーイスカウトのお祭りです。正参加また見学でも現地に足を運びたいものです。今年も一年スカウト活動に努力をお願い致します。

《藤田弘治 県コミッショナー》



明けましておめでとうございます。昨年の1月1日より、和歌山連盟県コミッショナーに委嘱されました藤田弘治です。

昨年に委嘱されはや1年がたちましたが、目まぐるしく社会が変化している中で、スカウト活動がスカウトにとって有意義になるためには何が必要かを考え、自分自身に何が必要なのか、隊指導者に何が必要かを、各委員長との意見交換、また、トレーニングチームディレクターとの意見交換を繰り返してきましたが、何も出てこない、今の自分自身に腹立ちを覚えて、今年こそは少しずつでも前向きに考えて行きたいと思えます。共に、スカウトたちと一緒にスカウト活動に励みたいです。

県連各種委員会報告

【総務委員会】

県連総務委員長 向井 良和

- 5月11日(日) 県連年次総会 ビッグ愛 ●5月18日(日) 第1回17WPC実行委員会・現地下見(潮岬青少年の家)
- 7月6日(日) 17WPC全体会議：和歌山東部コミュニティセンター
- 8月2日～4日 第17回和歌山県キャンポリー：県立潮岬青少年の家
(参加人数：スカウト60人／リーダー15人／団委員20人)
※県キャンポリーでは、総務班として受付・人員の出入りのチェック等を行いました。

【組織拡充・広報委員会】

委員長 平井 孝朗

組織拡充の運動の中で、新しいリーダーの担い手が見つからないという現状があります。それは何故かという一つに「リーダーの高齢化と負担の偏在」という現状があります。

①：あの人でなければ出来ないという知識・ノウハウの「属人化」「役割の固定化」が見られます。また、②：強い責任感が招く業務の抱かえ込みが周囲に依存という現象が起こります。③：30～40代の不在からベテランと新人の間の潤滑油が失われ、ベテランの負担が増大しています。

さらに「社会・家庭環境の変化」も一因です。①共働きが一般化しており「物理的な時間の壁」があげられます。②従来の純粋な奉仕スタイルだけでなくそこに「自己成長」や「新たな繋がり」を求める時代になっています。③保護者の多忙化でリーダーへの依存度が高まり、質の高いプログラムが要求され、負担の大変さから、リーダーになるのを尻込みします。

以上のような要因で団や隊で保護者にリーダーを求めても敬遠され、いつもと同じリーダーが揃って高齢化しています。では解決策として考えられるのは、①保護者・ローバースカウト以外の外部に人材を探す ②団委員等でリーダーのプログラム以外の業務をサポートして、リーダーの負担を減らす。 ③毎月じゃなくても、参加できる時だけでOKとか参加形態の柔軟化を構築する。が、どうでしょうか。

また大局的には、団の合併や地区や県連の役割の見直しも大いに役立つと思います。



【指導者養成委員会】

ウッドバッジ研修所課程別研修 (BVS課程和歌山第2回)

WB研修所課程別研修(BVS課程)を令和7年6月22日に和歌山市北コミュニティセンターで開催しました。近畿各府県から20名と多くの参加申込があり、急遽、場所を北コミュニティセンターに変更をして開設をしました。この研修はスカウトコースに参加された方が、ビーバースカウト隊の運営、プログラム計画・実施等に関する基礎的な方法を習得していただくことが目的です(ビーバースカウト課程別研修は開催県連によって、スカウトコース修了者以外でも参加可能です)

これらのことを1日ですべてを伝えることは難しく、今後もコミッショナー、トレーナーが支援をさせていただきたいと思います。

(主任講師 西田 昌弘・記)



初めての「e-ラーニング」併用型研修会
第40回ボーイスカウト講習会

【指導者養成委員会】

(主任講師 西田 昌弘・記)

令和7年6月15日、那賀総合センターで、那賀第2団が中心となり、第40回ボーイスカウト講習会を開催しました。今回の講習会は、保護者・団委員を中心に7名が参加。

講習会では、ボーイスカウト運動について知っていただくということで、運動の歴史・運動の目的・活動の方法などを学んでいただきました。

今回は「e-ラーニング（講習会前の事前研修）」と集合研修での新しい形で実施をしました。

集合研修も半日で終了し、お忙しい方にも参加しやすくなっています。

ので、今後もこの新しい「e-ラーニング併用型講習会」を開催していきたいと考えています。多数のご参加をお待ちしています。



地区協議会
 行事報告
 【紀北地区】

《紀北地区 VS & RS 大会》
「SASUKE」に挑戦

(地区副コミッショナー 檜葉 研二・記)

隔年に開催している紀北地区のベンチャー&ローバー大会。今年には2025年11月2日に大阪府松原市にある「V S パーク天美」に行きました。ここでは屋内型の、めっちゃヤバ過ぎアクティビティーが24種類以上もあります。

目的はテレビ番組の「SASUKE」に挑戦です。スカウトに聞いてみたところ是非、やってみたいということで紀北地区が請け負いましたよ。

V S パーク天美では、●ヨケキル（迫りくる猛獣の大群をよけまくる）
 ●Jump×Jump（回転する障害物から逃れ切る）
 ●ニンジャレース（バランス・パワー・スピードが必要な全3ステージ！制限時間内に全力でゴールまでたどり着け）などのアクティビティーにスカウトはエキサイトしていました。



④写真
 巨大ボールで
 相手を落とせ！

ジャンプして回転する棒
 から逃げきれ！



揺れ動くサーフボード
 を乗りこなせ！

紀北地区ビーバー大会

「鮎のつかみ取り&炭焼き」

紀北地区の2年に1回開催の「ビーバー大会」。昨年のわづ大会が鮎のつかみ取りをして好評だったので、今年のビーバー大会にもそれをしようと決めました。

2025年9月14日(日)紀北青少年の家において開催しました。団によっては「ワクワクの一般参加の子どもさん」も参加し、鮎は100匹も用意しましたよ。

恒例の鮎の放流に歓声をあげて、早速、プールの中に入り鮎を捕まえます。なかなか掴めないのがいいですね。獲った鮎は炭火で塩焼きにして美味しくいただきました。

ちょうど和歌山第18団さんのボーイ隊が、キャンプしていたのでサイトも見学させてもらい、製作してあったブリッジで遊ばせてもらいました。



生唾ゴクリ、旨そうな匂いが辺りに……。



▲ナカナカ捕まらないよとワイワイ大騒ぎ！



生けすトラックからプールに移される生きの良い鮎たち。子ども達の目が釘付け！

2025年度・紀北地区協議会行事報告&予定表

日時	内容	場所	日時	内容	場所
5月9日	第1回地区委員会	那賀総合センター	9月13日	第2回合同各種運営委員会	妙寺公民館
5月24日	BS・VS・RS円卓	伊都第5団スカウトハウス	9月14日	紀北地区ビーバー大会	紀北青少年の家
6月15日	第4回BS講習会(県連)	那賀総合センター(那賀2)	9月15日	スカウトの日	各団で行事実施
6月29日	17WPC訓練キャンプ	紀北青少年の家	10月3日	第4回地区委員会	打田生涯学習センター
7月4日	第2回地区委員会	大師教会(伊都1)	11月2日	紀北地区VS・RS大会	VSパーク天美店
8月16日	CS円卓&野営行事委員会	Web会議	11月30日	第41回BS講習会(県連)	橋本第2団ハウス
8月24日	2025年大阪関西万博奉仕	万博会場	12月6日	第5回地区委員会	橋本第2団ハウス
9月5日	第3回地区委員会	伊都第5団スカウトハウス	12月20日	WBSミュージックソン	各地

橋本
第2団

Hashi2cub は海を越えて

～JOTI2025 への参加～



10月18日、橋本第2団カブ隊はWOSMへの正式登録を経て、初のJOTIへの参加をしました。カブ隊が単体参加をするのは珍しい中、今回は台湾の台北第91団カブ隊、国内では静岡県・伊豆の国市の大仁第1団カブ隊との交流を持つことができました。

小規模ながら初の国際交流であり、手探りの中からの挑戦でした。集会当日は、スカウト達でウェルカムボードの内容を考え作成したり、質問したい内容を考えてたりと、スカウトも、そして指導者も「わくわくドキドキ」の初の海外デビューとなりました。

大仁第1団のスカウトからは、名産や富士山が見えること、韮山反射炉（世界遺産）を有する場所であること等で当地のお話を色々と教えていただきました。またこちらからも同

じく「高野山が近い」ことや柿が名産であること等を発表し、お互いに楽しい情報交換のひとつを過ごしました。

台北第1団カブ隊との交流はもちろん英語です。開会のセレモニー（やくそくとさだめの唱和）の交換からスタートです。ウェルカムボードもしっかりと見ていただき、お互い大変良く似た制服の説明や、台北の「おすすめスポット」も教えていただきました。約1時間半に及ぶ交流となりました。

同じ「制服」同じ「やくそくとさだめ」そして同じ「楽しそうなスカウトの姿」を見て・全世界的な繋がりを感じることができました。右胸の世界スカウト章（全世界共通）の意味を改めて感じた次第です。



この度は、ご受賞おめでとうございます。



平野 一夫	伊都第1団	令和7年10月1日	高齢者叙勲(旭日単光章)地方自治功勞
伊藤 眞輝	那賀第2団	令和7年11月30日	青少年育成活動知事感謝状
土橋 弘	和歌山第14団	令和7年11月21日	和歌山市教育功勞者表彰
池田 直弘	和歌山第22団	令和7年8月9日	和歌山市青少年育成市民会議顕彰



第17回県キャンポリー 紀南の地で開催す！

●2025年8月2日～4日 ●潮岬青少年の家



第17回・和歌山県キャンポリーを終えて 県連スカウト委員長 中谷新治

全国的に猛暑が続く中、2025年8月2～4日第17回県キャンポリーが「打ち上げよう！輝く未来に向けて」をテーマに、本州最南端の地「県立潮岬青少年の家」で開催されました。

全体行事は眼下に海を臨む素晴らしい景色の中で行われ和歌山の自然の豊かさを感じました。

キャンプサイトは樹木に囲まれ、直射日光は避けられるが、風の通りが悪く蒸し暑かったようでした。それでも中央には配給・炊事・食事を全体で行える大型のドームがあり、楽しい雰囲気での生活ができました。

プログラムは場内で技能章へのチャレンジを行い、場外プログラムとして「トルコ記念館・トルコ軍艦エルトゥールル号遭難慰霊碑」を訪れ、人間愛に満ちた地元の方々の必死の行いと、昔受けた恩は決して忘れないとの思いから、苦境に陥った日本人を救ってくれたトルコの方々との深い絆を学びました。

閉会式後「Sora-Miru 宇宙ふれあいホール」を見学し「スペースワン」や「カイロス」のこと、ロケット打ち上げの迫力を間近で感じるイメージビジョン「ロケットタワー」などワクワクした体験ができたと思います。

最後になりましたが全スカウト・指導者・奉仕者の皆さま本当にお疲れ様でした。そして、地元であるため何かにつけてお世話頂きました新宮第2団の皆さま本当にありがとうございました。



第17回ボーイスカウト和歌山県キャンポリー
令和7年8月2日～4日/潮岬青少年の家

大会キャップのデザインです

スカウトの意気「宇宙^{てん}」を突く！

写真で楽しもう！「楽しかった・苦しかった夏の思い出」



海草第1団

海草第1団活動報告

団委員長：吉本 哲也

三指

2025度後半の海草第一団は、夏の自然と清流を求めてビーバー・カブ隊合同で野迫川村にて舎営を実施。

秋は地域に根付いた活動に取り組んでいます。8月15～16日に「ビーバー隊・カブ隊合同キャンプ」を実施。

10月11～12日にかけて、本協の「射矢頭八幡宮秋祭り」で「こども神輿や獅子舞」、団として夜店の奉仕を実施。

10月18～19日にはV S・R S隊を中心に「木ノ本八幡宮秋祭り準備・撤収奉仕」等に積極的に参画してスカウト活動をアピールすると共にスカウトの拡充に努めてきました。



①野迫川キャンプ

②射矢頭八幡宮秋祭り



③木ノ本八幡宮秋祭り奉仕活動

和歌山第18団

「隼スカウト章に挑戦：サイクリング」

ベンチャースカウト：植木 脩吾

私たちの隊では、11月1日から3日までサイクリングキャンプを行いました。和歌山市から白崎青少年の家まで自転車で走り抜けたことで、これまで気がつかなかった和歌山の魅力を改めて発見することができました。

特に、海岸沿いの道から見える白い岩肌の迫力や、みかん畑が丘一面に広がる温かな風景は、和歌山ならではの美しさとして深く心に残りました。

仲間と声をかけ合いながら坂道乗り越えた時間も貴重な思い出です。目的地に到着した瞬間、それまでの努力が一気に報われ、言葉では言い表せないほどの大きな達成感を味わいました。

今回のサイクリングを通して、和歌山の新たな魅力を知るだけでなく、自分自身の成長や仲間との絆の深まりも実感することができました。この経験を活かして、これからスカウト活動に励みたいです。



㊤ 途中の休憩中？

㊦ いざ出発・進行！



和歌山第 21 団

ベンチャー章
取得を目指して

VS 隊隊長 川合健一

和歌山第 21 団ベンチャー隊は令和 7 年 9 月 27 日～28 日で海南第 1 団の協力を得て信仰奨励プログラムを実施することができました。

今回のプログラムの目的は、「ベンチャー章」への進級課目である「隊集会の企画と信仰奨励章」の課目の取得実施です。

27 日の夜に集合し浄國寺の太鼓堂をお借りして宿泊。次の朝からの日曜礼拝に参加させていただき、海南第 1 団荻野団委員長から「信仰について」のお話をいただきました。スカウトにとっては少し難しい内容だったかと思いますが、それでも真剣に聞き入っている姿が印象的でした。

信仰プログラムの後は感謝の意を込めて境内の「落ち葉の回収作業」の奉仕を行わせていただきました。想像以上に落ち葉等が多く回収するのに時間がかかりましたが、スカウトは一生懸命に取り組みました。

ベンチャースカウト企画の隊集会でしたが、ボーイ隊のスカウトも多く参加してくれた非常に有意義な隊集会になったと思います。



和歌山第 22 団

あれから、半年。

和歌山 22 団では、キャンプ場整備を進めています。前号では、キャンプ場としての空間づくりを開始した報告をしました。あれから半年かけて機材を収納する小屋の建設をすすめ、ようやく形が出来てきました。小屋の建設では、子供たちにのこぎりの使い方を教えて、角材を切ってもらいました。また、ドライバーを使って屋根をねじ止めしたり、柱を治具で固定したりして、木材が建物へと刻々と変化してゆく過程を見せることで、モノ作り (DIY) の楽しさを体感させてあげられました。夏の暑い時期の作業ではありましたが、みんなで楽しくキャンプ場整備ができました。キャンプをするのに良い季節になりましたので、今後ますます楽しい隊集会ができるものと、今からワクワクしています。
(カブ隊隊長 隠岐一雄)



僕らで、こんな素敵な小屋もつくったよ



海南第1団

夏の団キャンプは「防災キャンプ」となりました。

海南市の危機管理課のお力をお借りし、海南の今は廃校となった塩津小学校の体育館を使わせて頂きました。

また防災キャンプなので、段ボールベット・パーテーション・簡易トイレもスカウト1人に1セット貸して頂き、実際に組み立て、パーテーションの中の段ボールベットでの宿泊となりました。

段ボールベットは何度も使えるような作りで、子供には少し大きかったですが、割と簡単に作っていました。パーテーションは、ワンタッチ式ですぐに広げられる物です。ナイロン素材なので、

夏は風通しが悪く暑かったです。実際に防災で使う物をお借りできたので本格的な防災訓練キャンプとなりました。

食事は、食器にサランラップをかけてアルファ米をお湯でもどし、カレーにしました。美味しいと好評でした。また、活動は吹き矢や紙飛行機など室内で活動出来るものを楽しみました。翌日は、海辺でのカントリー作戦を実施し暑い中頑張りました。

後日、海南市の危機管理課に今回の「防災キャンプ」のお礼に伺いました。(記：大岡 三恵)

**地区協議会
行事報告
【和歌山地区】**

**令和7年度
和歌山地区カブラリー**

とき：令和7年11月30日
ところ：和歌山市河西公園

今回の地区カブラリーのテーマ「目指せ！ポケモントレーナー」は、日本連盟提案企画でしたので、とても良く考えられたプログラムでした。担当したポイントをいかにワクワクしたものにするか一生懸命考えてくれたり、導入部で副コミッショナー達が参加者をプログラムに入り込めるよう上手に芝居をしていただいたり、BSやRSが先輩トレーナーとして参加者を案内いただいたりと、和歌山地区全体で力を合わせ、未来に繋がるカブラリーとなりました。参加者総数は160名(スカウト&リーダー107名・一般参加者34名・保護者19名)でした。

(地区コミッショナー 山口 昇孝)



▲組み立てた段ボールベットの上で遊ぶ、ナカナカ丈夫ですネ



めざせ！ポケモンレーナー



18団担当：
ふわふわ落ち葉の大搜索！



14団担当：どうする！崖の上のポケモン？

伊都
第3団

みんなで「手作りピザ」に挑戦しました。

11月カブ隊の活動は、ピザ作りです。隊長は1時間前からピザ釜を温めましたよ。スカウトは生地作りから始めました。予想通り、制服は真っ白に変色したかの様でした。生地作りが終われば、恒例の環境美化で落ち葉拾い。スカウトの味もしっかり働きます。拾い終われば、野菜のカットをしました。少し時間はかかりましたが、発酵も進み1ト1トのピザ作りです。今回は定番のケチャップと、シトロンソースを用意しました。

みんな思い思いのピザが出来上がりました。出来上がったピザを隊長に渡して焼いてもらいます。隊長は、ピザを何回も焼いているのでセンプロみたいに焼いてくれます。みんな出来たてのピザを頼張りながら食べているのを見て指導者は嬉しく思います。

食べ終わったら、チャレンジ章の伝達式です。今回は3人で合計8個をクリアしての伝達式でした。

1トが5個になったので、タスキのスカウトが生まれました。これを期に他のスカウトも頑張りたいものです。



▲ピザ生地を伸ばすスカウトこれには、悪戦苦闘。

㊦: 右奥がピザ焼き窯。焼いている間に落ち葉拾いのボランティア

めざせ！ボーイスカウト！ポケモントレーナー！

那賀第4団

那賀第4団です。「めざせ！ボーイスカウト！ポケモントレーナー」は10月19日に史跡紀伊国分寺跡・歴史公園で行いました。ビーバー隊、カブ隊のスカウトに「ワクワク自然体験」で募集した一般の子どもと一緒にポケモントレーナーに挑みました。

6つのミッションを巡るのですが、リーダーの手作り感が満載なポイントと共に愉快地にコスプレしたポイント要員もいたりして、スカウトと共にリーダーも楽しんでいました。

内容は、●4匹の迷子になったポケモンを探す。●簡易担架を作って怪我をしたポケモンを搬送する。●ジュナイパーになって輪ゴム鉄砲で木の実を落とす。などスカウト活動とポケモンの良いところをコラボしており、いつもと違うプログラムが展開できました。

新米ポケモントレーナー役がベンチャースカウトで、早速ロープ結びを教えたりして、ビーバー・カブの良い見本になりました。どのミッションも「チームワーク」「体力作り」「技能」「瞬発力」「観察力」「救護」といったボーイスカウトの日ごろの活動に含まれるものでスカウトの進歩に繋がったと思います。



那賀第2団

「青洲まつり」での スカウト活動

紀の川市では、毎年10月最終日曜日に「青洲まつり」という地域の祭りが青洲の里で行われています。地元の保育園の演技や屋台も多く出ており、その青洲まつりの中で那賀第2団のボーイスカウト活動も行われています。

今回ボーイ隊は、祭りのブースをお借りして、祭りに来ている一般の方に向けてカタパルトを使った的当て体験を開きました。

スカウト主体で組み立てや体験に来た人の対応をしてもらい、大変だと思いましたがスカウト自身も良い経験になったかと思えます。

この祭りを通して学校や家では体験できないことを提供し、楽しんでもらうことにより少しでもボーイスカウトに興味を持っていただけるよう日々努力をしていきたいです。

BS 隊隊長 中谷健太郎



なんだか良く分からんけど、これが「カタパルト」らしヨ。
的に当たるんかいナ…ホンマに？

ボーイスカウト伊都第5団 【近況報告】

ボーイスカウト伊都第5団の近況の活動を報告します。本年度はビーバー隊・カブ隊・ベンチャー隊・ローバー隊で活動をしています。

●9月21日(日)にビーバー隊・カブ隊で栗拾いに行きました。沢山の栗を拾い袋いっぱいを持ち帰りました。

●10月19日(日)にカブ隊が大台ヶ原ハイキングを行いました。出発時は霧雨で山中は霧に覆われていましたが、日出ヶ岳に登頂したときは展望が広がり尾鷲湾まで見えました。残念なことには富士山は見えず次回に見送りました。

●10月25日(土)橋本市青少年団体連絡協議会20周年行事として熱気球に乗せていただきました。上空から自分たちの住む橋本市を眺めることが出来ました。少人数の団ですが指導者・スカウトは精一杯に頑張っています。



伊都第5団

